

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	TOVANKASAME NICHIA
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Reconsidering Formality and Informality in the Mass-tourism Business: A Case of Phuket, Thailand			
論文審査担当者 Dissertation Committee Member			
主 査 Committee Chair	広島大学大学院国際協力研究科	教授 関 恒樹	印 Seal
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 片柳 真理	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	教授 吉田 修	
審査委員 Committee	広島大学大学院国際協力研究科	准教授 牧 貴愛	
審査委員 Committee	広島大学大学院総合科学研究科	准教授 長坂 格	
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review 本論文は、タイ南部プーケットにおけるツーリズム産業を事例とし、従来都市社会経済論や労働過程の研究において、二項対立的に論じられてきたフォーマリティとインフォーマリティの議論を批判的に再考することを試みたものである。第1章序論では、研究の背景として、変動の激しい国際的ツーリズム市場に柔軟に対応するために、プーケットにおいては様々なインフォーマルな慣行が観察されることが述べられる。問題の所在として、政府の規制は必然的に規制されざる領域を生み出し、ツーリズム産業に関わる諸アクターによるインフォーマルな実践を生み出すが、中でも近年急増するツーリスト・ガイドの戦略を明らかにすることの重要性が指摘される。第2章はプーケット地域社会の歴史的な発展経緯が、華人社会の変容とともに論じられる。第3章は、タイ政府のツーリズム政策に注目し、政府が特にガイドの認可を通じてツーリズム産業の規制を試みる状況が論じられる。第4章は、旅行会社、代理店、ホテル経営者、タクシー運転手など様々なアクターからなるプーケットのツーリズムの仕組みと動態が詳述される。第5章では、従来正当なツーリズムの担い手として認められていなかった、タイ国内各地からの移住者たちが、マスツーリズム市場における需要によって急増し、インフォーマルな形で地域社会に吸収されていく状況が論じられる。第6章では、ツーリスト・ガイドたちのインフォーマルな戦略としてのコミッションの授受とその意味が論じられる。第7章では、ツーリストガイドの福利厚生を守り、向上させていくためのフォーマルな制度としてのアソシエーションが、実際にはガイドたちの様々なインフォーマルな実践を容認し、さらには助長している状況が論じられる。第8章結論では、観光産業におけるフォーマリティとインフォーマリティは、実体的に明確に区別される領域として相互排他的に存在するのではなく、むしろ両者が接合し、相互浸透的に進展することによって、ツーリズムが持続している状況が議論される。このような内容を持つ本論文は、タイ地域研究やツーリズムの研究に対してのみでなく、フォーマリティ/インフォーマリティをめぐる諸研究への理論的貢献も十分に認められることが、審査員一同によって確認され、合格と判断された。			